【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和7年1月23日(2025.1.23)

【国際公開番号】WO2023/218881
【出願番号】特願2024-520332(P2024-520332)
【国際特許分類】
H01H 50/38(2006.01)
H01H 9/44(2006.01)
【FI】
H01H 50/38 H
H01H 50/38 A
H01H 9/44 A

【手続補正書】
【提出日】令和6年11月6日(2024.11.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１固定接点を含む第１固定端子と、
前記第１固定端子の左に位置し、第２固定接点を含む第２固定端子と、
前記第１固定接点と接触する又は離間する第１突起を含む可動接触子と、
前記可動接触子に対向する第１磁石と、
を備え、
前記第１磁石は、前記可動接触子の右端よりも右に設けられており、
前記第１突起は、上面視で前記第１固定接点と重なっており、
前記第１固定接点の右端は、前記可動接触子の右端よりも左にあり、前記第１突起の右端よりも右にある
継電器。
【請求項２】
前記可動接触子の右端から左端までの距離である長さは、前記可動接触子の幅よりも大きく、
前記第１磁石は、右から見て前記可動接触子と重なっている
請求項１に記載の継電器。
【請求項３】
前記第２固定接点の左端は、前記可動接触子の左端よりも右に位置する
請求項１または２に記載の継電器。
【請求項４】
前記第１固定接点は、上面視で、前記可動接触子と重なっており、
前記第１固定接点の外縁は、上面視で、前記可動接触子の外縁の内側に位置する
請求項１または２に記載の継電器。
【請求項５】
前記可動接触子は第１基部をさらに含み、
前記第１基部は、前記第１突起よりも右側に位置し、
前記第１突起と前記第１固定端子との間の距離は、前記第１基部と前記第１固定端子との間の距離よりも小さい

請求項１または２に記載の継電器。
【請求項６】
前記第１突起の上面は、前記第１固定接点と接触する
請求項１または２に記載の継電器。
【請求項７】
前記可動接触子に対向する第２磁石と、を備え、
前記第２磁石は、前記可動接触子の左端よりも左に設けられており、
前記第２磁石は、左から見て前記可動接触子と重なっている
請求項１または２に記載の継電器。
【請求項８】
前記第１磁石と前記第２磁石とは、同極対向するように並んでいる
請求項７に記載の継電器。
【請求項９】
前記可動接触子を覆うケースをさらに備え、
上面視で、前記ケースの内面と前記可動接触子の右端面との間の最短距離は、前記ケースの内面と前記可動接触子の右端面と左端面をつなぐ側面との間の最短距離よりも小さい
請求項７に記載の継電器。
【請求項１０】
前記ケースには、前記第１固定端子と前記第２固定端子が挿入されており、
前記ケースは、前記第１磁石と前記第２磁石との間に位置する
請求項９に記載の継電器。
【請求項１１】
前記可動接触子が第２突起をさらに有し、
前記第２突起は、上面視で前記第２固定接点と重なっている
請求項１または２に記載の継電器。
【請求項１２】
前記可動接触子が、前記第２突起と並んで配置される第３突起をさらに有し、
前記第３突起は、上面視で前記第２固定接点と重なっており、
前記第２固定接点は、前記第２突起または前記第３突起と接触する又は離間する
請求項１１に記載の継電器。
【請求項１３】
前記可動接触子が、前記第２突起と並んで配置される第３突起をさらに有し、
前記第３突起は、上面視で前記第２固定接点と重なっており、
前記第２固定接点は、前記第２突起と前記第３突起の両方と接触する又は離間する
請求項１１に記載の継電器。
【請求項１４】
前記第２突起と前記第３突起とは、前記可動接触子の上面に位置し、
前記可動接触子において電流が流れる方向に直交する方向に並んでいる
請求項１２に記載の継電器。
【請求項１５】
前記第２突起と前記第３突起との間の最短距離は、前記可動接触子の左端に近づくほど大きい
請求項１２に記載の継電器。
【請求項１６】
前記第１基部の上面は、前記可動接触子の右端に向かうにつれて下方に傾斜している
請求項５に記載の継電器。
【請求項１７】
前記可動接触子は第２基部をさらに含み、
前記第２基部は、前記第２突起よりも左側に位置し、
前記第２突起と前記第２固定端子との間の距離は、前記第２基部と前記第２固定端子と

の間の距離よりも小さく、
前記第２基部の上面は、前記可動接触子の左端に向かうにつれて下方に傾斜している
請求項１１に記載の継電器。